

特 集

高校普通科での新設科目＝アグリトライ＝

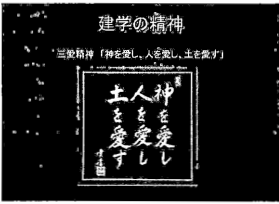

伊藤 有輝



とわの森三愛高等学校 教諭
(実習部長 担当教科・農業)

はじめに

本校の概要は、普通科21クラス〔特進コース7クラス〕〔普通コース14クラス〕、酪農経営科3クラスがあり、全校生徒833名となっております。建学の精神である「神を愛し、人を愛し、土を愛す」との「三愛精神」を教育の柱としています。「神を愛し」を毎週の礼拝で

心に受け止め、「人を愛し」をボランティア活動の実践等を通じて実感してきました。「土を愛す」については、酪農経営科を中心とする実学農業の実践を基礎に、5年前より総合的な学習の時間において1学年の全生徒が「とうもろこしの栽培」を行い、土に触れる機会を設けてきました。

<p style="text-align: center;">はじめに</p> <p>本校の概要 普通科 21クラス (普通コース14クラス・特進コース7クラス) 酪農経営科 3クラス 全校生徒833名 (1年：7クラス・2年：8クラス・3年：9クラス)</p>	<p style="text-align: center;">三愛精神</p> 	<p style="text-align: center;">文武両立</p> 
--	--	---

<p style="text-align: center;">神を愛し</p> 	<p style="text-align: center;">人を愛し</p> 	<p style="text-align: center;">土を愛す</p> 
--	--	--

そして今年度（2008年度）より、普通科普通コースの新設科目として選択科目の中に「アグリトライ」を設定し、3年生10名（男子3名、女子7名）と、2年

生10名（男子2名、女子8名）で、実際の体験型農業科目を4月より実施してきました。

科目選択	
2年生・3年生普通科 (普通コース) 選択科目群 アグリトライ (農業) 英語コミュニケーションA・B 物理I 化学I 簿記 9科目からの選択	音楽演習 美術演習 書道演習 情報C

アグリトライ
新設科目として今年度より実施 普通科普通コース 3年生10名（男子3名・女子7名）／197名 2年生10名（男子2名・女子8名）／169名
土に触れる機会を増やし、 実際の体験型農業科目

受理 2009年1月13日

学習のねらい

学習のねらいは、「生きる力」(問題解決能力)を育てることにあります。農業における生徒の学びは、「知識」「技術」「体験(経験)」であり、それを活用することで生きる力を身につけていきます。アグリトライでは、建学の精神に基づいて、実際に作物栽培を体験(経験)することで、農業技術教育(テクニカル・スキル)だけでなく、自ら物事を捉えて考える中からの

社会に求められる人材の育成を目標に

- ・農業技術教育(テクニカル・スキル)だけでなく
- ・コンセプト・スキル
自ら物事を捉えて考える
その中から発想力や企画力を養う
- ・コミュニケーション・スキル
情報収集をする相互理解能力
(コミュニケーション・スキル能力)

発想力や企画力(コンセプト・スキル)、そのための情報収集をする相互理解能力(コミュニケーション・スキル)を身につけていき、社会に求められる人材の育成につなげることを目指しています。それらを実現するための指導体制作りのため、酪農学園大学「教職センター」と連携し、教職課程を履修する大学生(4年生6名、3年生4名)とともにすべてのプログラムを実施しています。

酪農学園大学「教職センター」との連携

教職課程を履修する学生の実践の場
大学生教員(4年生6名・3年生4名)

アグリトライ スタート!!

学習内容について

栽培している作物は、3年生:レタス(4種類)、ハクサイ、ナス(3種類)、ピーマン(3種類)、トマト(ハウス5種類)、2年生:ブロッコリー、トマト、大豆、ダイコンとなっています。無農薬栽培に挑戦することを含めて実践しています。生徒2名で1班

とし、大学生1名が専属の担当者となり、播種から管理、収穫までを行い、各作物についての生育調査も行って、日々の生長を実感しています。また、学校祭において実際に自分たちで栽培した作物の販売実習を行いました。今後も継続して同様の取り組みを行う予定です。また、栽培した作物を使用し、ピザや豆腐などの食品加工実習も行っていきます。

学習内容

- ・無農薬栽培
- ・播種から日常管理
- ・作物の生育調査
- ・収穫
- ・販売実習
- ・加工実習

栽培作物

- | | |
|--------------|--------------|
| 3年生 | 2年生 |
| ・レタス(4種類) | ・ブロッコリー(1種類) |
| ・ハクサイ(1種類) | ・トマト(路地5種類) |
| ・茄子(3種類) | ・大豆(2種類) |
| ・ピーマン(3種類) | ・ダイコン(1種類) |
| ・トマト(ハウス5種類) | |

授業内容

班編成:1班:2名(5班で実施)
面積:畑の面積7㎡
各自に責任を持たせる
高校生2名に対して
専属の大学生教員1名(4年生)
サポート大学生教員1名(3・4年生)

学習を通じて

スタートするまでは、難しい課題が山積していることを感じていましたが、実際に大学と高校の連携を基盤にして授業展開を行うことで、学生・生徒双方とともに協力して学ぼうとする意欲が高まり、テクニカル・スキルのみならず、コミュニケーション・スキルも高まっています。また、後期からの食品加工実習に向けて、栽培した作物を使用した食品加工の計画も進められており、ともに相談しながらのコンセプト・スキルも培われてきています。また、実際に食品加工実習を実施してみると全員がいきいきと取り組んでいました。

生徒たちの4月と10月の取り組む姿勢を比較すると、明らかに良い方向へと変化が見られてきました。授業での対応や作業への取り組み、顔つきなど輝くものを感じ、この授業での手ごたえも感じています。

授業風景



授業風景



授業風景



授業風景



終わりに

生徒たちは、作物栽培を通して土に触れる中で、普段食べているものをより身近に感じ、栽培・生産の苦勞を体験し、地味な作業の中にも作物が生長していく喜びを感じることができています。また、出来上がった野菜を収穫し、各家庭で実際に食べたりすることで、家族から「おいしい」との感想をもらい、生徒たちは

やる気をさらに向上させています。

これからもこの授業をより充実させ、将来的には酪農学園の高等学校だからこそ、普通科においても必修科目とすることを目指した検討をしていきたいと考えています。この酪農学園とわの森三愛高等学校のキャンパスで学ぶ生徒全員が土に触れることで、食に対する思いを高めていければ良いと考えています。

